

三心を磨く

学校だより No. 13
 令和4年2月15日(火)発行
 須坂市立東中学校
 文責：嶋田 和美 (教頭)
<http://www.azuma-school.ed.jp/>

生徒のアンケートから ～来年度の東中グランドデザイン作成に向けて～

今回は、12月生徒対象に実施した「授業アンケート」「学校評価アンケート」の結果をお知らせします。生徒の現状についてご理解いただけたらと思います。なお、結果から見えてくる今年度の成果と今後の課題を明確にし、来年度にむけての準備を進めて参りたいと思います。

「授業アンケート」の結果と考察

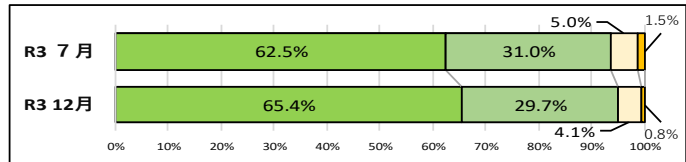
令和3年12月20日(月)～23日(木)実施 145/153 回答率94.8%

7月19日(月)～21日(水)実施【生徒数153(回答数137)…回答率89.5%】

■ A 当てはまる ■ B どちらかといえば当てはまる ■ C どちらかといえば当てはまらない ■ D 当てはまらない

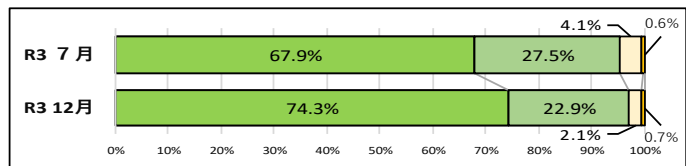
①授業は内容が充実していてわかりやすく満足できる

	A	B	C	D
R3 12月	65.4%	29.7%	4.1%	0.8%
R3 7月	62.5%	31.0%	5.0%	1.5%



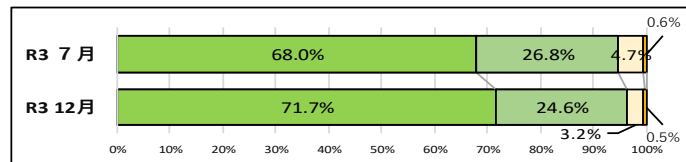
②授業では、友人と関わり合いながら、学習内容を理解することができる

	A	B	C	D
R3 12月	74.3%	22.9%	2.1%	0.7%
R3 7月	67.9%	27.5%	4.1%	0.6%



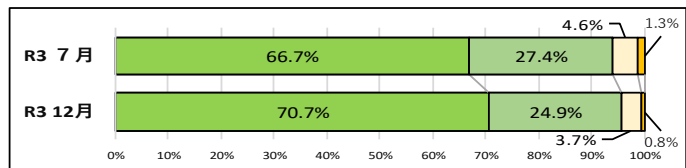
③授業は1人1人が大切にされていて、安心して学習できる

	A	B	C	D
R3 12月	71.7%	24.6%	3.2%	0.5%
R3 7月	68.0%	26.8%	4.7%	0.6%



④デジタル教科書・プロジェクター・タブレットを使って、内容を理解することができる

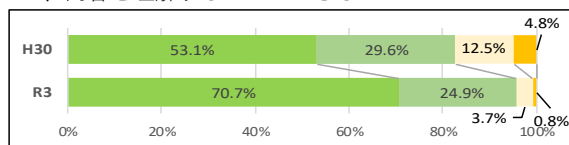
	A	B	C	D
R3 12月	70.7%	24.9%	3.7%	0.8%
R3 7月	66.7%	27.4%	4.6%	1.3%



- 授業の満足感について、94%→95%の肯定的な回答でした。
- 協働的な学習による内容の理解も、95%→97%の肯定的な回答でした。
- 安心できる授業について、94%→96%の肯定的な回答増えました。
- ICTの活用による理解についても肯定的な回答が高く、3年前の同質問事項と比較すると昨年度と同様にICTを活用した授業については成果が伺えます。

④デジタル教科書・プロジェクター・タブレットを使って、内容を理解することができる

	A	B	C	D
R3	70.7%	24.9%	3.7%	0.8%
H30	53.1%	29.6%	12.5%	4.8%



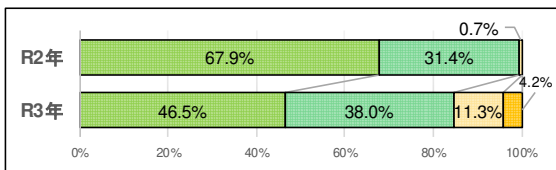
今年度も、協働的な学びや個別最適な学びのために積極的にICTを活用に取り組んできたことが、成果につながっていると考えます。本年度より「新学習指導要領」が全面実施となりました。今後「東の子ども」に必要な学びを追究し、ICTを効果的に取り入れた授業作りを目指していきます。

「学校評価アンケート」の結果と考察

令和3年12月20日(月)～23日(木)実施 142/153 回答率92.8%

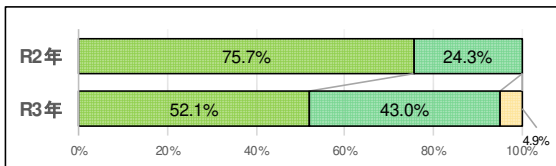
■ A 当てはまる ■ B どちらかといえば当てはまる ■ C どちらかといえば当てはまらない ■ D 当てはまらない

【1】東中学校の生活に満足している



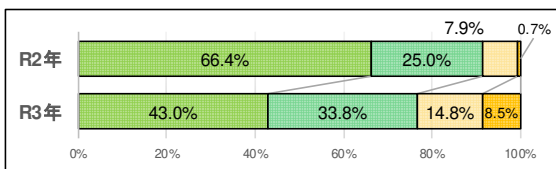
昨年度と比較し、肯定的な回答が減り、否定的な回答が増えた。本年度もコロナ禍で制限されることが多かったが、昨年度のように生徒なりに満足した生活を過ごすことができなかったと考える。学校として、十分な対応でなかったことを反省し、丁寧な対応に心がけたい。

【2】学校は、学校に関する情報をわかりやすく伝えている



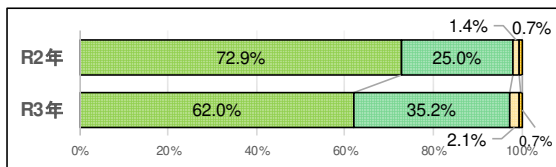
学習や進路については、お便り等で、生徒に向けて、発信してきた。今後も丁寧な情報発信を引き続き行っていきたい。

【3】学校が楽しい



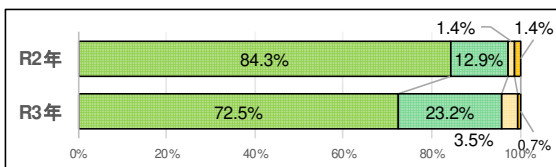
「学校が楽しい」の質問に対して、否定的な回答が増えた。今年度もコロナ禍でいろいろな場面で、感染予防のために、制限したことが多く、部活動や文化祭等、生徒がエネルギーを発散する場面において窮屈な思いをさせてしまっている。満足感についても学年差が見られるので、学年運営など工夫し対応していきたい。

【4】総合的な学習の時間の学習（自分を知る・進路学習・福祉学習・防災学習など）は役立った



コロナ禍の中で内容も検討し、例年とは異なる活動を扱った。「自分を知る・自分の生き方を考える・共に生きていく等」の学習のねらいが明確にし、充実した活動ができたと考える。

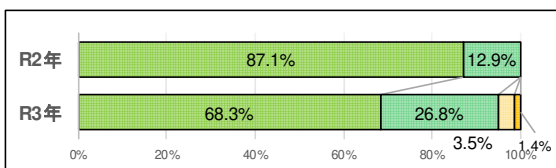
【5】東祭・修学旅行などの行事は楽しく充実していた



東祭では、制限がある中でも、3年生を中心に楽しんでいる姿がたくさん伺えた。

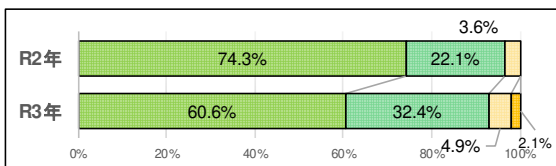
修学旅行も松本諏訪方面となったが、奈良京都の修学旅行とはまた違ったよさを生徒自身が発見できた。

【6】清掃では、三心清掃を心がけ、無言で最後まで取り組んでいる

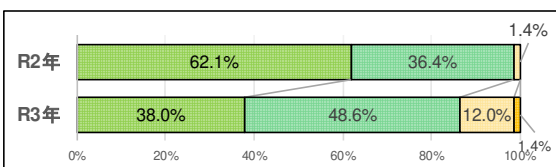


生徒会活動の重点でもある「あいさつ」「清掃」について、昨年度と比較すると、肯定的な回答が減少しているが、9割以上の肯定的な回答があり、生徒会を中心に積極的に取り組んだ成果と考えたい。さらに、肯定的な回答が増えるように生徒会が活性化するように支援していきたい。

【7】あいさつができています

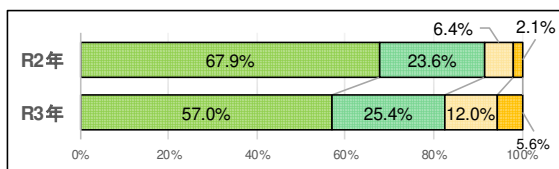


【8】学校の授業はわかりやすく、楽しく学ぶことができる

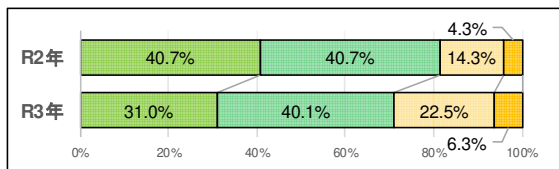


授業アンケートの「分かりやすい授業」では、9割以上の肯定的な回答であったが、この回答では9割に及ばない。質問に「楽しく学ぶ」があるかないかの差と考えると、よりわかりやすく楽しく学べる授業改善に取り組んできた。

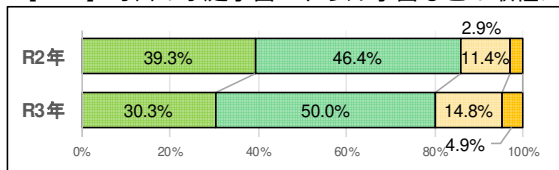
【9】毎日、家庭学習に取り組んでいる



【10】自分で計画して学習に取り組んでいる



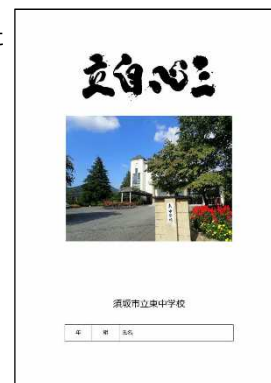
【11】毎日の家庭学習・ドリル学習などの取組により「やればできる」と思うようになった



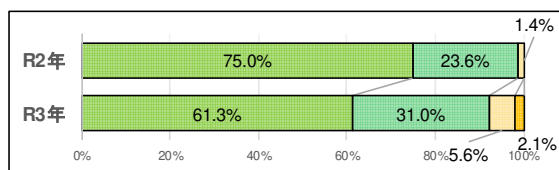
「家庭学習」を通して「やればできる」経験が少ないことも考えられる。「テスト」を繰り返し挑戦できるなど、根気よく取り組んだ結果が実を結ぶ経験ができる場面を意図的に作っていくことにも取り組みたい。

8割以上「家庭学習」に取り組んでいることが分かるが、「自分で計画して学習に取り組んでいるか」の肯定的な回答は71%と1割減となっている。

この結果から、「家庭学習」はやらされているものといった点が否めない。この傾向は昨年度も同様である。「主体的な学び」の必要性が叫ばれる中、二学期から「プランニング」活動を始めた。まだ成果が見えてこないが、「プランニング」活動を続けたり、「家庭学習」について、検討したりし、「やらされる学習」からの脱却に取り組みたい。

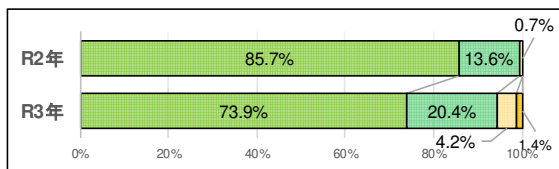


【12】先生方は、あいさつや服装（身支度）などの基本的な生活習慣を身につける指導をしている



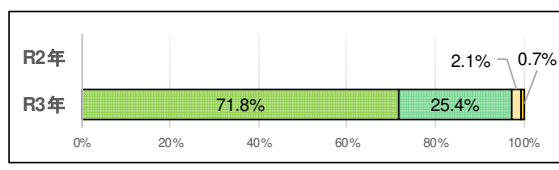
日頃より特に厳しい指導をしているわけではない。生徒会を中心に生徒の自主性に任せている部分が多い。昨年度より肯定的な回答が減ったが、引き続き生徒の自主性を尊重していきたい。

【13】先生方は、一人ひとりの生徒を大切に、いじめや体罰のない安心な学校生活を送れるようにしている



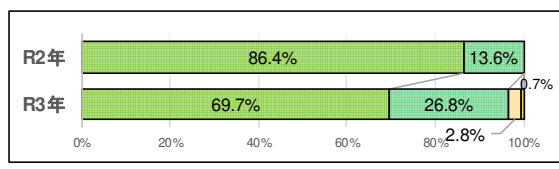
94%の生徒が学校の対応について肯定的な評価をした。今後も安心できる学校作りに取り組みたい。また、否定的な評価の生徒がいることも忘れず、より丁寧な対応に心がけていきたい。

【14】先生方は、生徒の健康管理に気を配り、安心な学校生活を送れるように配慮している



こちらの質問の回答も97%の生徒が肯定的な評価をした。今年度もコロナ対策として、毎日生徒昇降口での健康観察を行うなど丁寧に対応している結果と考える。

【15】先生方は、学習への質問や学校生活等の相談に、ていねいに対応している



学習に関しては、教科担任だけでなく、本校は学習支援の先生が充実している。また、教育相談の時間等を設け二人の担任との定期的な懇談を大切にしている。昨年度より肯定的な回答は減っているが、肯定的な回答が96%以上あることは成果と考えたい。



